

2021年12月23日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2021年12月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、下押し圧力が幾分和らぐもとで、徐々に持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。住宅投資は、持ち直している。輸出は、持ち直している。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

12月短観における企業の業況感は、製造業・非製造業ともに改善している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や供給面の制約が、当地の経済金融情勢に与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		持ち直しのペースが鈍化している。	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直している。
需要項目	個人消費	下押し圧力が強い状態にある中、足もとでは持ち直しの兆しが窺われる。	下押し圧力が幾分和らぐもとで、徐々に持ち直している。
	住宅投資	持ち直している。	持ち直している。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。	一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。
	輸出	足踏み状態となっている。	持ち直している。
生産		足踏み状態となっている。	持ち直している。
雇用・所得		労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。	労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

2. 個人消費

- 個人消費は、下押し圧力が幾分和らぐもとで、徐々に持ち直している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	徐々に持ち直している。
	スーパー売上高	持ち直している。
	コンビニエンスストア売上高	持ち直している。
耐久消費財	家電販売	増勢が鈍化している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	供給制約の影響から、減少している。
サービス	旅行・観光	当地発の旅行取扱額は、大幅に減少した状況が続いているものの、国内向けにおいて持ち直しの動きがみられている。この間、観光面も、厳しい状況が続いているものの、徐々に持ち直している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、持ち直している。

10月の新設住宅着工戸数は、持家の増加を主因に前年を上回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

11月の公共工事請負金額は、国発注分の減少を主因に前年を下回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。

12月短観（九州・沖縄地区）における2021年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る計画となっている。

10月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6. 輸出

- 輸出は、持ち直している。

11月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、持ち直している。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、部品の供給制約の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。
電子部品・デバイス	高水準で推移している。
汎用・生産用 ・業務用機械	半導体関連向けを中心に増加している。
化 学	持ち直している。
鉄鋼・非鉄金属	持ち直している。
食 料 品	弱含んで推移している。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

労働需給をみると、有効求人倍率は横ばい圏内で推移している。

9月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った。

9. 物価

- 10月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を下回った（10月：▲0.1%）。

10. 金融

- 10月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った。
- 10月の貸出残高をみると、個人向けや法人向けを中心に前年を上回った。
- 11月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を下回った。

以 上